

郡上農林事務所の普及活動状況 [3月]

令和2年3月23日現在

今月の重点活動

■水稲 「郡上のお米」の良食味、高品質生産を目指して

郡上産米ブランド化研究会では、郡上産米のブランド化に向けて各種活動、研究を行っており、3月18日に郡上総合庁舎において、令和2年産の食味向上に向けての個別面談を行った。

農業普及課では、研究会員の令和元年産の栽培方法、食味結果等を分析し、令和2年産の栽培計画について各種助言を行った。今回初めての取り組みであったが、市農業アドバイザーやJA担当者を交えて熱心に打ち合わせが行われ、生産者の意欲向上につながった。

今後は、食味向上実証ほを設置し、食味と併せて、収量性、品質面での各種調査を行い、地域に根差した栽培技術の確立に努めていく。



【個別面談の様子】

多様な担い手づくり

■新型コロナウイルス対策 生産者への情報提供を実施

新型コロナウイルス感染者が増加している中、郡上地区においても予定していた研修会等が、相次いで延期もしくは中止されている。

こうした状況において、地域の農業者の感染防止や影響を受けた方々に対する支援策等について情報を提供するため、農業普及課は3月19日、農林水産省や日本政策金融公庫が作成した資料を地域の主だった生産者団体等に対し発送した。

感染拡大の終息が見えない中、必要な情報が農業者への的確に提供できるよう、引き続き支援を行っていく。



【送付した資料の例】

売れるブランドづくり

■大麦 大麦の高品質、安定生産を目指して

郡上市では、土地利用型経営体の経営補完品目として大麦を栽培しているが、さらなる高品質、安定生産を目指すため、奨励品種決定調査により有望品種の試作を行っており、3月2日にJAの協力のもと生育調査を行った。

農業普及課では、地域の営農組織の協力を得て、調査ほ場の設置、出芽期以降の定期的な調査を行っており、現時点では従来の品種と遜色のない生育を確認している。

今後は、出穂期、収量性、品質面での調査を行い、品種特性を把握し、地域での適応性を判断する基礎データを収集していく。



【生育調査の様子】